

町会だより

「史跡椎津城跡を守る会」発足

守る会会長 田丸 榮一

■椎津城跡とは

水陸の交通の要衝に築かれた戦国時代の城跡で、足利氏、武田氏、里見氏、北条氏らにより、8回にわたる攻防が繰り返されたことが、当時の記録から分かっています。この様な激しい攻防は、県内でも類例がなく、房総の戦国史を語るうえで欠くことのできない城跡と言えます。

椎津の八坂神社の裏手の台地に



整備作業 お疲れ様

広がる椎津城跡は市内でも最大規模です。土塁や空堀などが今も残り、強者達の息吹を感じる事ができます。

所在地：市原市椎津263-2

■椎津7町会の活動

平成28年県の文化財に指定され、平成29年に教育委員会と協定を結び、ツツジとアジサイの記念植樹をし、「富士山の見える広場」にしようと、整備作業が始まりました。ジャングルのように生い茂った孟宗竹、樹木、雑草等の整備、孟宗竹は破碎機に掛けてチップ状にして、遊歩道に敷く作業を3年間実施し、見違えるようにきれいな城跡になりました。

そんな中、姉崎高等学校の生徒の「ふるさとを愛する会」の1,2年生が史跡椎津城跡の看板、標柱を作成し、贈呈式が行われ、記事として地域新聞シティライフにも掲載されました。今後、「富士山の見える城跡」等の看板11枚を各所に設置予定です。



作業終了 集合写真で癒し

■ボランティア団体

「史跡椎津城跡を守る会」発足 令和3年4月1日より椎津7町会より引き継いで任意団体「史跡椎津城跡を守る会」が発足しました。歴史に興味ある方はぜひ参加してはいかがでしょうか。毎月の整備作業は第3土曜日午前9時から11時までで、作業内容は、竹伐採、草刈り、遊歩道の整備等の作業です。今後ベンチや案内板も設置していく予定です。富士山が見えるまでは時間がかかりそうですが、皆で力を合わせてきれいな椎津城跡にしていきたいと思ひます。



遊歩道

姉崎地区(前年同期比)

世帯数 14,394 世帯(-1)
人口 28,622 人(-259)
男 14,874 人(-172)
女 13,748 人(-87)
令和3年10月1日現在



発行

姉崎地区社会福祉協議会
発行責任者 会長 黒川 実男
編集者 広報部 会
事務局 姉崎保健福祉センター内
TEL 0436(62)8601

新会長挨拶 よろしくお願ひします

姉崎地区社会福祉協議会 会長 黒川 実男



思いであります。

近年の地域を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少が進み、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯、ひとりおや子育て世帯の増加、複合的な要因から陥る生活困窮や社会的孤立など、様々な福祉・生活課題が浮き彫りとなっています。

更に、昨年からの新型コロナウイルス感染拡大により外出自粛、人と人との接触制限が求められ、地域での身近な交流や見守り・支え合い・生きがいづくり活動に影響が及びました。

このような暮らしの変化を踏まえ、全ての住民が地域で暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことが出来る「地域共生社会」及び基本理念である「地域の住民主体による“地域全体で支える仕組みづくり”」の実現と達成。

また、本年度が最終年度である第5次地域福祉活動計画の姉崎地区行動計画推進委員会が出された反省点・改善案については、次期「第6次地域福祉活動計画」の策定に生かし、基本姿勢、活動、考

<お詫び>7月号はコロナ禍により休刊となりました

えを見直し、新たな人材の育成・掘り起しを行い、住民からボランティアを募集し、過去に捉われない斬新な活動・行事の推進に向けて、地域住民や関係団体の方々と連携・協働を図りながら、地区社協構成員一丸となって、誠心誠意努めてまいります。

新型コロナウイルス感染禍により大変な社会情勢ではありますが、1期2年の任期の中で本会の役割を自覚し、職責を全うするように努めてまいります。皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



密を回避し10月再開の茶話会

令和3年度姉崎地区町会長会の役員です

姉崎地区には32の町会があります。各町会の活動が円滑に行えるよう役員一同、力を合わせて頑張っています。

- | | | | | | | |
|--------|------|-------|---------|----------|------|------|
| 代表顧問 | 監事 | 監事 | 監事 | 会計 | 副会長 | 会長 |
| (姉崎仲町) | (山新) | (佐久間) | (富士見第一) | (青葉台五丁目) | (新宿) | (桃尾) |
| 廣瀬 保夫 | 保男 | 義人 | 時雄 | 喜昭 | 正司 | 英宣 |

姉崎地区町会長会役員



ご寄付 いただきました

上総吟游会様 5,000 円



アネッサインフォメーション

ネウボラセンターの人事異動です

高橋 亜衣さん

令和3年4月1日に着任しました。前任の田村さんの後任です。どうぞ宜しくお願い致します。



編集後記

令和3年度より広報部会長となりました吉成です。どうぞよろしくお願いいたします。コロナ禍も落ち着きを見せようとしておりますが、みなさんはご健勝にお過ごしのことと推察いたします。さて、姉崎地区社会福祉協議会(以下、地区社協)は今年度人事を刷新し、そよ風で新しい地区社協の活動をみなさまにお知らせして参ります。どうぞ、みなさまも注目して下さるよう、お願ひいたします。



人と人とのつながりの大切さを強く感じました。

呼びかけに続いて、開催に向けた準備への協力も行い、そこでは姉崎地区社協が実施してきた「福祉バザー」で培ってきたノウハウが発揮されました。

結果、8月28日の開催日は、アイデアを出し合いながら設営した会場で、地域の皆さんから提供された手軽に食べることのできる食品や子どもが喜ぶ菓子等を、笑顔で直接手渡すことができました。

今回の「よつばちゃんのフードパントリー」への協力で得た成果や課題等は、事業展開を検討している「地域(子ども)食堂」に繋いでいきます。



「第1回よつばちゃんのフードパントリー」への協力

市原市社会福祉協議会 姉崎地区担当 武部 麻未

8月28日に市原市社会福祉協議会主催の「第1回よつばちゃんのフードパントリー」が姉崎保健福祉センター(アネッサ)で開催されました。



そもそもフードパントリーとは、食品ロスの低減という観点から、企

業、農家や一般家庭から寄付された食料を無料で配布する活動です。

今回実施された「よつばちゃんのフードパントリー」は、姉崎・有秋地区を対象に誰もが気軽に参加できる食料品の寄付を通じて、地域で住民同士が支え合う「困ったときはお互いさま」の地域づくりを目指して、市原市社会福祉協議会と地域が連携した取り組みです。

姉崎地区社会福祉協議会では、地域内の各種団体で活動する皆さんに食品提供の協力を呼びかけるところから始まりました。事業に対する理解を深め、協力を要請していく中で、



令和3年度姉崎地区社会福祉協議会役員

役職名	氏名	所属団体等
会長	黒川 実男	小域福祉NW(青葉台小)
副会長	川上 孝江	民生委員児童委員協議会
〃	吉成 正司	町会長会
〃	水田 葉子	子育て家庭支援員協議会
会計担当	中島 宗光	戦没者遺族会
〃担当	田丸 恵子	民生児童協議会(主任児童委員)
事業部長	川又 昇造	小域福祉NW(明神小)
〃副部長	田中 文子	更生保護女性会
〃副部長	藤沢 朝代	子育て家庭支援員協議会
事務担当	桃尾 英宣	町会長会
〃担当	安藤 敏子	民生委員児童委員協議会
理事	齊藤 義人	町会長会
〃	佐久間保男	〃
〃	渡辺 時雄	〃
〃	相川 敏子	民生委員児童委員協議会
〃	小野田俊信	〃
〃	桑原 秀明	〃
〃	山本 芳夫	〃
〃	石井 英之	〃
〃	大山加代子	〃
〃	青木 律子	〃
〃	窪園 和子	〃
〃	切替みどり	〃
〃	田丸 貞子	〃
〃	鈴木 正夫	〃
〃	齋藤 浩子	〃(主任児童委員)
〃	田丸 榮一	小域福祉NW(姉崎小)
〃	岩撫 幸子	食生活改善協議会
〃	早坂 貴子	子育て家庭支援員協議会
〃	倉持美枝子	更生保護女性会
〃	潤間 恵子	〃
〃	坂本 宏美	明るい選挙推進協議会
〃	中島 光孝	地域包括(たいよう)
〃	猪股 理寛	〃(しおみ)
〃	中西 英広	青少年相談員連絡協議会
〃	高島 直彦	企業(JFE溶接鋼管)
〃	諏訪 孝明	姉崎公民館
〃	市川 博文	地域行政機関
監事	進藤 和江	保護司会
〃	寺田 喜昭	町会長会

再開した10月度の会食会

「分散参加で小人数でしたが、話も弾みました。」



姉崎地区社会福祉協議会の各部会活動

*会食会では参加者制限あり、事務局に確認を!

ふれあい会食会 (原則第4水曜日) 会場: 姉崎公民館

期日	行事内容
R3年 12月 8日	うた/お楽しみ会 :グループIII
R4年 1月26日	フラダンス鑑賞/〃 :グループI
〃 2月16日	シニアの交通安全/〃 :グループII
〃 3月 9日	折り染め体験 メモ帳づくり/〃 :グループIII

ふれあい茶話会 (原則第2金曜日) 会場: アネッサ

期日	行事内容
R3年 12月10日	脳トレーニング
R4年 1月14日	歌声サロン
〃 2月 4日	おり紙教室
〃 3月 4日	だまされないための講座

子育てサロンわくわく (原則第3金曜日) 会場: 姉崎公民館

期日	行事内容
R3年 12月17日	お楽しみ会
R4年 1月21日	かんたん紙工作
〃 2月18日	ベビーマッサージ体験
〃 3月13日	ミニコンサート(マリンバ)

広報紙 そよ風 (年2回発行)

期日	行事内容
R3年 12月 1日	「そよ風」 55号発行

姉崎地区社協 相談支援事業 相談カフェ

お気軽にお立ち寄り下さい
3密対策しながら実施中
毎月第1水曜日
午前10時~12時
アネッサ相談室
*相談時間を午前に変更しました



門前市の中止

門前市中止により出店参加はなくなりました。

福祉バザーの中止

アネッサでの恒例の福祉バザーは中止となりました。代替えとして、歳末募金を実施していますのでご協力を宜しくお願いします。



移転2年半を振り返り 近況です 地域包括支援センター「たいよう」

センター長 中島 光孝

こんにちは、市原市地域包括支援センター「たいよう」(以下、包括たいよう)です。

「包括たいよう」は、青葉台・有秋・五井南を担当圏域としている相談機関で、いつも大変お世話になっております。

さて、センターを姉崎から有秋台に移し、2年半が経過しました。

青葉台にお住いの皆様には、センターが遠くなりご不便をおかけしております。

現在「包括たいよう」では、本年1月に看護師が入職し、看護師2名、社会福祉士3名、



「たいよう」入口

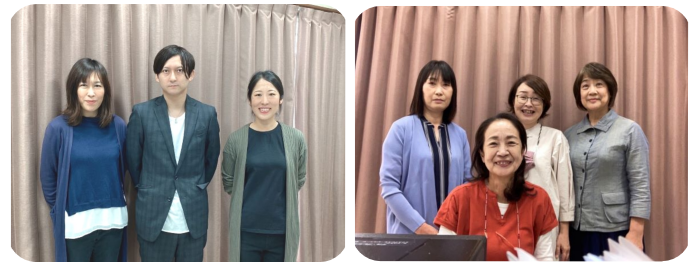
主任介護支援専門員2名の計7名で運営しております。

令和4年の4月までには職員の復職や、更なる増員を予定しております。より盤石な態勢を築き、業務に励んで参ります。

一昨年度の末よりコロナ禍に見舞われ、市内の地域包括支援センターでは、緊急時においても相談体制を維持していく為、分散勤務体制を敷き、職員間の接触を可能な限りゼロにしていかなざるを得ない等、大きな影響がありました。

その経験を糧とし、現在でも在宅勤務やオンライン業務を取り入れる等、新しい相談体制を構築しております。

近年は頂く相談内容も困難化・複雑化



「たいよう」のスタッフ

しており、一筋縄ではいかないようなご相談も増えてきております。相談は時が経つほど、解決までに時間を要し、より複雑に絡み合っていきます。

一人で・ご家族のみで悩まずにどうぞ「包括たいよう」にお話をお聞かせ下さい。

複雑に絡み合った糸を解いていく手助けが出来れば幸いです。



『明神小学校区小域福祉ネットワーク』の近況

ネットワーク会長 川又 昇造

明神小学校区小域福祉ネットワークでは、当区域にお住まいの皆さまに対しまして「支えあい・助け合い」の仕組みを構築し、誰もが地域での暮らし易さを確保するとともに、安心して生活できる地域社会づくりを活動の目的としております。

当区域には9町会あり、約3,600世帯、約7,000の方がお住まいです。



高齢者向け体操教室 (2019年)

当ネットワークは、平成21年に発足してから12年が経過いたしました。この間の主な活動につきまして、以下に紹介させていただきます。

- (1) 小学校低学年の登下校見守り
- (2) 高齢者向け体操教室と茶話会
高齢者の健康寿命を伸ばすことを目的とし、4ヶ所の自治会館で開催。
- (3) 世代間交流事業「昔あそび」
子供たちと昔あそびを通して交流することを目的に明神小学校の1教室を利用させていただき開催。
- (4) 地域福祉支援事業
「避難所訓練」

避難所の開設や運営についての知識を身に付けてもらい、幅広い層の人々が参加できるような内容にて開催。

新型コロナウイルス禍にあり、



世代間交流事業 昔遊び (2019年)

残念ながらこの約2年間は活動ができない状況が続きました。まだ不安の消えない今日この頃、コロナ対策に配慮した活動を再開したく検討をしております。地域の皆様のご協力をお願い申し上げます。



避難所運営訓練 (2019年)